
令和 7 年度

第4次長岡市食育推進計画実施状況報告書

長 岡 市

令和 8 年 7 月

第4次長岡市食育推進計画 施策の体系

基本理念	食で育む健やかな身体 豊かなところ 未来へつなぐ地域の活力		
基本方針	健全な食生活を実践できる食育の推進	取組の柱	・多世代にわたり心と身体を健康にする食育の推進 ・生活習慣病を予防する健康づくりの推進
	ながおかの食をとりまく環境への理解を深める食育の推進		・食と環境に関する理解の促進 ・地域の特性、農産物等を活かした食育の推進と次世代への継承

5つの基本施策

家庭での推進	学校、保育園等での推進	地域での推進	環境に配慮した食の循環の推進	「ながおかの食」の継承
--------	-------------	--------	----------------	-------------

<家庭での推進>

取り組むべき施策	主な取組	食育推進事業
(1)こどもの基本的な生活習慣の形成	○早寝・早起き・朝ごはんの生活リズムの向上と実践の普及啓発 ○妊産婦や乳幼児のいる家庭に向けた食生活支援の実施 ○生活リズムが乱れやすい環境にある中高生以上に向けた、基本的な生活習慣づくりの普及啓発	○母子手帳交付時の生活指導（こども家庭センター） ○赤ちゃん相談、1.6歳・3歳児健診時の栄養相談と情報提供（こども家庭センター） ○子育て支援地区活動（母子保健推進員協議会） ○児童クラブ等食育プログラム（健康増進課） ○食育リーフレットの作成・配布（健康増進課） ○食育総合講座「みんなの食育塾（高校生コース）」（健康増進課） ○食育だより・給食だより（保育課・各保育園、学務課・各小中学校） ○食育授業・食生活調査（学務課・各小中学校）

取り組むべき施策	主な取組	食育推進事業
(2)望ましい食習慣や知識の習得	○気軽に参加しやすい料理教室や体験活動等による、食に関する正しい知識や選択力、調理技術を習得する機会の提供 ○ホームページや地域活動を活用した、保護者に対する食育の重要性や適切な栄養管理に関する知識の啓発	○子育て支援あぐりんこ内の食育調理実習（JAえちご中越さんとう地域） ○子育て世代の親子を対象にした郷土食の伝承会（JAえちご中越さんとう地域） ○小学校（保育園）での食育出前教室（JAえちご中越さんとう地域） ○市政だより給食レシピ紹介（学務課・保育課） ○給食試食会（保育課・各保育園、学務課・各小中学校） ○児童クラブ等食育プログラム（健康増進課）【再掲】 ○こども長岡びったり3・1・2弁当スライド作品展（健康増進課・学校教育課） ○食育総合講座「みんなの食育塾（親子コース）」（健康増進課） ○保育施設を通じた保護者への栄養・食生活支援（県）
(3)こどもの育成支援における共食等の食育推進	○共食の場を利用した食に対する知識や感謝の心の育成 ○料理教室やイベント等による食に関する家庭での仕事や役割へ関心を持つことができる機会の提供 ○家族が食卓を囲んで共に食事をとる機会や、食に関する学習や体験活動を行うことでのコミュニケーションの重要性の再認識	○こども食堂への運営支援（子ども政策課） ○児童クラブ等食育プログラム（健康増進課）【再掲】 ○食育だより・給食だより（保育課・各保育園、学務課・各小中学校）【再掲】 ○こども長岡びったり3・1・2弁当スライド作品展（健康増進課・学校教育課）【再掲】 ○食育授業・食生活調査（学務課・各小中学校）【再掲】

＜学校、保育園等での推進＞

取り組むべき施策	主な取組	食育推進事業
(1) 学校、保育園等での組織的、計画的な食育の推進	○学校における食育の組織的・計画的な推進 ○保育園等における食に関わる保育環境の整備 ○学校・保育園等の食育指導に関わる計画の作成・活用・共有 ○教育従事者や保護者を対象とした食に関する講演会の開催	○食育指導計画（保育課・各保育園、学務課・各小中学校） ○食育講演会（学務課・各小中学校） ○保育園・幼稚園・こども園食育事業【保育従事者研修会】（健康増進課） ○保育園・幼稚園・こども園食育事業【食育講座】（健康増進課・保育課）
(2) 給食場面等を活用した食育の推進	○給食だよりの発行や給食試食会の開催等による家庭や地域と連携した取組 ○地域の食材や郷土料理を使用した給食の実施 ○食事のマナーや衛生管理の知識の習得 ○こどもたちと生産者や食の関係者との交流による食への関心拡大と感謝の心の育成	○給食試食会（保育課・各保育園、学務課・各小中学校）【再掲】 ○給食だより・食育だより（保育課・各保育園、学務課・各小中学校）【再掲】 ○市政だより給食レシピ紹介（学務課・保育課）【再掲】 ○給食での行事食の実施（保育課・各保育園、学務課・各小中学校） ○栄養教諭等による健康教育・指導（保育課・各保育園、学務課・各小中学校） ○保育園・幼稚園・こども園食育事業【食育講座】（健康増進課・保育課）【再掲】 ○こども長岡びったり3・1・2弁当スライド作品展（健康増進課・学校教育課）【再掲】 ○小、中学生を対象として環境をテーマにデコ活4コマまんがコンクールの募集（環境政策課） ○小学生を対象とした地球温暖化・気候変動対策講座で食品ロス削減につながる環境教育（環境政策課） ○小学校（保育園）での食育出前教室（JAえちご中越さんとう地域）【再掲】 ○特定給食施設等指導事業（県）
(3) 食育を通じた健康状態の改善等の推進	○肥満や過度の痩身が心身の健康に及ぼす影響についての知識の普及と個別の相談等の実施	○栄養教諭等による健康教育・指導（保育課・各保育園、学務課・各小中学校）【再掲】 ○保育園・幼稚園・こども園食育事業【食育講座】（健康増進課・保育課）【再掲】

＜地域での推進＞

取り組むべき施策	主な取組	食育推進事業
(1) 市民の健康づくりのための食育活動	○食生活改善推進委員等と連携し地域の健康状態の改善とその支援 ○健康診断結果に応じた栄養や運動指導の充実 ○健康教室等による生活習慣病予防及び重症化予防の観点からの食育の普及啓発 ○生活習慣病に関する知識の普及や実践力の養成 ○歯科的特徴に応じた支援や口腔内の健康保持、よく噛んで食べる習慣の啓発	○食育推進料理教室（長岡市食生活改善推進委員協議会） ○働く世代への啓発事業（長岡市食生活改善推進委員協議会） ○食育総合講座「みんなの食育塾（生活習慣改善コース）」（健康増進課） ○ながおか減塩うまみランチ商品化（健康増進課・学務課） ○健康増進活動（JAえちご中越 ながおか地域） ○すこやかともしびまつりブース参加（栄養士会長岡支部） ○糖尿病を知るつどいでの啓発活動（栄養士会長岡支部） ○地域・職域連携推進事業（県） ○自然に健康な食事ができる環境づくり事業（県）
(2) 高齢者・男性に対する食育の啓発	○高齢者へのふれあい食事サービスを活用したバランスの良い食事の提供 ○高齢者の低栄養や生活習慣病予防のための指導 ○高齢者や男性を対象とした料理教室の開催等、食への関心を高め健全な食生活の実践ができる機会の提供	○コミュニティセンターにおける高齢者・男性に対する食育の取組（各コミュニティセンター・市民協働課） ○ふれあい型食事サービス事業（社会福祉協議会・長岡市食事サービス連絡協議会） ○長岡地域 地域高齢者等の「食」をサポートする体制整事業（県） ○自然に健康な食事ができる環境づくり事業（県）【再掲】
(3) 関係団体等との連携・協働体制の確立	○関係者同士のネットワークを構築し総合的・効果的な食育の推進ができるような連携の強化 ○地域における共食の場づくりとそれに伴う理解と適切な認識を深めるための情報提供及び支援	○食育推進会議・食育推進連絡会議の開催（健康増進課） ○第4次長岡市食育推進計画進捗状況管理（健康増進課）
(4) 食に関わるボランティア活動等民間の取組への支援	○活発な食育推進活動を図るため食に関するボランティアの増加や活動の支援及び環境づくり	○食生活改善推進委員養成教室の開催（健康増進課） ○食生活改善推進委員活動支援（健康増進課） ○こども食堂への農産物の無償提供（JAえちご中越 さんとう地域） ○ふれあい型食事サービス事業（社会福祉協議会・長岡市食事サービス連絡協議会）【再掲】

取り組むべき施策	主な取組	食育推進事業
(5)食育に関する情報発信・普及啓発	○長岡市食育推進計画の作成・周知による市民への理解の促進 ○市の広報誌やマスメディア等を利用した情報発信 ○食に関する関係団体と連携した「食育月間」「食育の日」の普及 ○食に関するイベントや講座、講演会の開催等への参加による食に対する意識の向上	○食育月間・食育の日PRイベント(健康増進課) ○食育講演会(健康増進課) ○市政だより給食レシピ紹介(学務課・保育課)【再掲】 ○食農教育ワークショップわくわくキッズアドベンチャー(JAえちご中越) ○食農教室 ファミリークッキング ワンジャふる(JAえちご中越) ○食育の日料理教室(JAえちご中越)
(6)若い世代に関わる食育の推進	○適正体重に関する正しい知識の向上 ○健康づくりに取り組む企業への支援 ○企業と連携し食事バランスなどに配慮した食事の普及と健全な食生活を実践しやすい食環境づくり	○食育総合講座「みんなの食育塾(生活習慣改善コース)」(健康増進課)【再掲】 ○食育総合講座「みんなの食育塾(高校生コース)」(健康増進課)【再掲】 ○ながおか減塩うまみランチ商品化(健康増進課・学務課)【再掲】 ○健康増進活動(JAえちご中越 ながおか地域)【再掲】 ○自然に健康な食事ができる環境づくり事業(県)【再掲】

＜環境に配慮した食の循環の推進＞

取り組むべき施策	主な取組	食育推進事業
(1)農林漁業体験活動の促進	○体験活動ができる環境整備と利用促進 ○食への関心と理解を深めるための体験活動の開催と情報提供	○ながおか田植え・さつまいも苗植え体験、稲刈り・さつまいも掘り体験（農水産政策課・ながおかグリーン・ツーリズム推進協議会） ○芋農園、じゃが芋・肴豆栽培収穫体験（JAえちご中越ながおか地域） ○農業、農村体験（JAえちご中越 ながおか青年部・さんとう地域） ○学校教育田（JAえちご中越 ながおか青年部・さんとう地域） ○野菜栽培指導（JAえちご中越 ながおか青年部・さんとう地域） ○こめっこすすめ隊料理教室（JAえちご中越 ながおか地域）
(2)農林漁業に関する理解の促進	○食に関するイベントや直売所を利用した生産者と消費者の交流の促進 ○リーフレット等での啓発	○長岡産食材を使用した給食の実施（農水産政策課・保育課・各保育園、学務課・各小中学校） ○学校給食への長岡産（地場産）米提供・地元野菜の提供（JAえちご中越 ながおか地域・さんとう地域） ○ワンジャーランドフェス（JAえちご中越） ○職場体験（JAえちご中越 ながおか地域・さんとう地域）
(3)地産地消の促進	○地域の食材への理解と関心を持たせるため、保育園等や学校給食への地域の食材の使用拡大や、郷土への関心を高めるための生産者との交流促進 ○直売所等での地域の食材の情報提供による購入しやすい環境づくり ○子育ての駅等での普及活動 ○地産地消推進店の利用促進事業の実施	○食育の日料理教室（JAえちご中越）【再掲】 ○給食試食会（保育課・各保育園、学務課・各小中学校）【再掲】 ○長岡産食材を使用した給食の実施（農水産政策課・保育課・各保育園、学務課・各小中学校）【再掲】 ○学校給食への長岡産（地場産）米提供・地元野菜の提供（JAえちご中越 ながおか地域）【再掲】
(4)環境と調和のとれた持続可能な食に関する普及啓発	○環境と調和した生産方法で作られた農林水産食品に対する理解と関心の増進のための普及啓発 ○食品ロス削減に向けた教育及び関係団体と連携した普及啓発や環境教育を実施	○環境に配慮した農法で作られた米のブランド化（農水産政策課） ○小、中学生を対象として環境をテーマにデコ活4コマまんがコンクールの募集（環境政策課）【再掲】 ○小学生を対象とした地球温暖化対策講座で食品ロス削減につながる環境教育（環境政策課）【再掲】

＜「ながおかの食」の継承＞

取り組むべき施策	主な取組	食育推進事業
(1) ボランティア活動等における取組	○食文化を次世代に継承する担い手の育成 ○料理教室やレシピ集の作成・配布による地域の食文化の継承 ○地域の食材に関する知識や調理方法の普及 ○地域において気軽にコミュニケーションを図れる環境づくり	○食育リーフレットの作成・配布（健康増進課）【再掲】 ○食生活改善推進委員地区活動（長岡市食生活改善推進委員協議会） ○食生活改善推進委員養成教室の開催（健康増進課）【再掲】
(2) 学校、保育園等給食での郷土料理等の積極的な導入	○地域の食文化への理解と関心を持たせるため、保育園等や学校給食への地域の食材や郷土料理の使用拡大 ○学校、保育園等の活動の中における地域の食についての教育拡大	○給食での行事食の実施（保育課・各保育園、学務課・各小中学校）【再掲】 ○長岡産食材を使用した給食の実施（農水産政策課・保育課・各保育園、学務課・各小中学校）【再掲】 ○学校給食への長岡産（地場産）米提供・地元野菜の提供（JAえちご中越 ながおか地域）【再掲】
(3) 地域の食文化の次世代への継承	○和食文化や食事のマナー、作法等まで幅広く学び、継承していく機会の提供 ○行事食の再認識と情報提供の充実	○子育て支援あぐりんこ内での食育調理実習（JAえちご中越さんとう地域）【再掲】 ○子育て世代の親子を対象にした郷土食の伝承会（JAえちご中越さんとう地域）【再掲】 ○食農教室 ファミリークッキング ワンジャふる（JAえちご中越）【再掲】 ○食育総合講座「みんなの食育塾（伝承コース）」（健康増進課） ○給食での行事食の実施（保育課・各保育園、学務課・各小中学校）【再掲】

第4次長岡市食育推進計画 事業量管理表

事業名等		実施主体	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
			実績	決算額 (千円)	実績	決算額 (千円)	実績	決算額 (千円)
1	母子健康手帳交付時の生活指導	こども家庭センター	妊娠届出数 1,360件	573	妊娠届出数 1,302件	658	妊娠届出数 1,241件	643
2	赤ちゃん相談、1.6歳、3歳児健診時 栄養・食生活相談・情報提供	こども家庭センター	赤ちゃん相談 1,357人 1.6才健診 1,571人 3才健診 1,635人	478	赤ちゃん相談 1,270人 1.6才健診 1,432人 3才健診 1,583人	494	赤ちゃん相談 1,176人 1.6才健診 1,305人 3才健診 1,553人	384
3	子育て支援地区活動	母子保健推進員協議会	食に関する内容 開催数 7回	527	食に関する内容 開催数 13回	780	食に関する内容 開催数 8回	792
4	児童クラブ等食育プログラム	健康増進課	実施地区数 17か所 参加者数 492人	84	実施地区数 16か所 参加者数 653人	78	実施地区数 12か所 参加者数 370人	62
5	食育リーフレットの作成・配布	健康増進課	リーフレットの配布のみ実施	—	リーフレットの配布のみ実施	—	リーフレットの配布 減塩啓発動画の作成・配信	—
6	食育総合講座「みんなの食育塾(親子コース)」	健康増進課	3回開催 ①親子6組 16人 ②親子11組 23人 ③18人	56	5回開催 ①親子9組 ②親子8組 ③親子9組 ④親子10組 ⑤親子9組	250	5回開催 ①親子12組 ②親子10組 ③親子9組 ④親子9組 ⑤親子10組	250
7	食育総合講座「みんなの食育塾(高校生コース)」	健康増進課	高校 1校 18人 新潟少年学院 52人	12	新潟少年学院 46人		新潟少年学院 113人	
8	食育総合講座「みんなの食育塾(生活習慣改善コース等)」	健康増進課	2回コース×2講座 動画作成1本 延参加者数 45人	28	2講座 動画作成1本 延参加者数 72人		3講座 延参加者数 42人	
9	食育総合講座「みんなの食育塾(伝承コース)」	健康増進課	郷土料理教室(2回開催) 延べ35人 醤油づくり体験講座(大人向け)12人	67	郷土料理教室(2回開催) 延べ37人 醤油や発酵について学ぶ講座14人		郷土料理教室(2回開催) 延べ33人 動画配信(のっぺ) 申込468人 視聴回数717回	
10	給食だより・食育だより	保育課 各保育園	献立だより発行 12回/年(保育課) 食育だより発行 各保育園 年3～4回	—	献立だより発行 12回/年(保育課) 食育だより発行 各保育園 年3～4回	—	献立だより発行 12回/年(保育課) 食育だより発行 各保育園 年3～4回	—
		学務課 各小中学校	全市内学校で毎月1回配布 特別号(夏・冬休み)年2回 減塩の取組を毎月配布・掲示 学校給食週間に合わせ年1回配布	—	全市内学校で毎月1回配布 特別号(夏・冬休み)年2回 減塩の取組を毎月配布・掲示 学校給食週間に合わせ年1回配布	—	全市内学校で毎月1回配布 毎月「ながおか減塩うまみランチ」に 合わせて配布・掲示 学校給食週間に合わせ年1回配布	—

第4次長岡市食育推進計画 事業量管理表

事業名等		実施主体	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
			実績	決算額 (千円)	実績	決算額 (千円)	実績	決算額 (千円)
11	食育授業・食生活調査	学務課 各小中学校			食育授業:50校で実施 食生活調査:全小中学校で実施 (小5、中2)	—	食育授業:47校で実施 食生活調査:全小中学校で実施 (小5、中2)	—
12	こども長岡ぴったり3・1・2弁当スライド作品展	健康増進課			応募総数 217件 小学校 8校8件 中学校 5校209件 【ぴったり賞】80件 【おいしい賞】137件	—	応募総数 167件 小学校 3校4件 中学校 5校163件 【ぴったり賞】37件 【おいしい賞】130件	—
13	市政だより 給食レシピ紹介	学務課 保育課			令和6年9月号より開始 月1回	—	学務課と保育課が隔月で掲載 月1回	—
14	子育て支援めぐりんこ内での食育調理実習	JAえちご中越 さんとう地域	年11回開催 参加数:延べ親子110組	163	年10回開催 参加数:延べ親子94組	186	年11回開催 参加数:延べ親子102組	—
15	子育て世代の親子を対象にした郷土食の伝承会	JAえちご中越 さんとう地域			親子16組 36人	63	親子15組 33人	—
16	小学校(保育園)での食育出前教室	JAえちご中越 さんとう地域			小学校 2校(うち1校は3回) 保育園 5園	—	小学校 2校 保育園 9園	—
17	保育施設を通じた保護者への栄養・食生活支援	県			小千谷市で実施 1園 参加者38人	—	見附市で実施 1園 参加者13人 関係者研修会2回 27人	—
18	地域・職域連携推進事業	県					運輸業のモデル事業所で実施 参加者50人	—
19	子ども食堂への運営支援	子ども政策課			補助金交付 16団体 (うち新規施設:2か所)	1,120	補助金交付 14団体 (うち新規施設:2か所)	1,020
20	食育指導計画	保育課 各保育園	公立保育園・こども園 30/30園作成	—	公立保育園・こども園 30/30園作成	—	公立保育園・こども園 30/30園作成	—
		学務課 各小中学校	全体計画:83校作成 年間計画:75校作成	—	全体計画:83校作成 年間計画:75校作成	—	全体計画:79校作成 年間計画:70校作成	—
21	食育講演会	学務課 各小中学校	児童生徒対象:5校 保護者対象:3校	—	児童生徒対象:5校 保護者対象:3校	—	児童生徒対象:4校 保護者対象:2校 保護者と地域住民:1校	—
22	給食試食会	保育課 各保育園	各公立保育園で実施 14園	—	各公立保育園で実施 20園	—	各公立保育園で実施 23園	—
		学務課 各小中学校	保護者対象:43校 学校評議員対象:1校	—	保護者対象:43校 学校評議員対象:1校	—	保護者対象:51校	—

第4次長岡市食育推進計画 事業量管理表

事業名等		実施主体	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
			実績	決算額 (千円)	実績	決算額 (千円)	実績	決算額 (千円)
23	給食での行事食の実施	保育課 各保育園	月1～2回程度実施	—	月1～2回程度実施	—	月1～2回程度実施	—
		学務課 各小中学校	全市内学校で実施	—	全市内学校で実施	—	全市内学校で実施	—
24	栄養教諭等による健康教育・指導	保育課 各保育園	保育園:3園(延べ5回) 参加者数延べ253人 支援センター:3か所	—	保育園:2園(延べ4回) 参加者数延べ282人 支援センター、子育ての駅:4か所	—	保育園:3園(延べ6回) 参加者数延べ298人 支援センター、子育ての駅:3か所	—
		学務課 各小中学校	全市内学校で実施	—	全市内学校で実施	—	全市内学校で実施	—
25	保育園・幼稚園・こども園食育事業 【園児・保護者向け講座】	健康増進課	保護者向け食育講座 2園 65人 親子食育体験講座 5園 179人 3回講座 10園 延べ1,436人	12 30 300	保護者向け食育講座 3園 80人 親子食育体験講座 6園 241人 3回講座 10園 延べ883人	239	保護者向け食育講座 2園 36人 親子食育体験講座 5園 193人 3回講座 10園 延べ1559人	255
	保育園・幼稚園・こども園食育事業 【保育従事者研修会】	健康増進課	保育従事者研修会 1回 参加者 158人	30	保育従事者研修会 1回 参加者 156人	30	保育従事者研修会 1回 参加者 185人	30
26	特定給食施設等指導事業	県			見附市の保育園を対象に実施	—	高齢者施設を対象に実施	—
27	食育推進料理教室	長岡市食生活改善 推進委員協議会	実施地区数 51地区 参加者数 延783人	1,030	実施地区数 49地区 参加者数 延766人	981	実施地区数 49地区 参加者数 延622人	981
28	ながおか減塩うまみランチ商品化	健康増進課 学務課	6月 主菜献立:2,100個 副菜献立:1,105個 10月 副菜献立:1,815個	72	【マルイ】6月 主菜献立:2,472個 副菜献立:544個 【たいしん】2～3月 299食	66	【マルイ】6月 主菜献立:2,216個 副菜献立419個 汁物献立193個 【たいしん】4～3月 弁当1,353食 社員食堂554食	3
29	健康増進活動	JAえちご中越 ながおか地域	健康料理教室(22会場)参加者229人 健康教室(3会場)参加者55人	—	健康料理教室(21会場)参加者238人 健康教室(3会場)参加者37人	—	健康料理教室(18会場)参加者182人 健康教室(3会場)参加者55人	—
30	すこやかとしびまつりブース参加	栄養士会長岡支部	展示PR ブース来場者539名	—	展示PR ブース来場者512名	—	展示PR ブース来場者370名	—
31	糖尿病を知るつどい啓発活動	栄養士会長岡支部	参加者 94人	—	参加者 158人	—	【糖尿病を知るつどい】 7月5日 参加者260人 【アオーレで知ろーれ糖尿病】 11月8日 参加者164人	—

第4次長岡市食育推進計画 事業量管理表

事業名等		実施主体	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
			実績	決算額 (千円)	実績	決算額 (千円)	実績	決算額 (千円)
32	自然に健康な食事ができる環境づくり	県			けんこうtime推進店 新規登録 1件	—	長岡市けんこうtime推進店 31件	—
33	コミュニティセンターにおける高齢者・男性に対する食育の取組	各コミュニティセンター 市民協働課	高齢者対象 参加者数延べ356人 男性対象 参加者数延べ413人	—	高齢者対象 参加者数延べ223人 男性対象 参加者数延べ183人	—	高齢者対象 参加者数延べ460人 男性対象 参加者数延べ256人	—
34	ふれあい型食事サービス事業	社会福祉協議会 食事サービス連絡協議会	食事サービス:市内41地区で実施 (全地区) 延食数59,631食 調理ボランティア研修会: 3回 144人	— 49	食事サービス:市内41地区で実施 (全地区) 延食数62,502食 調理ボランティア研修会: 3回 177人	— 64	食事サービス:市内41地区で実施 (全地区) 延食数60,109食 調理ボランティア研修会: 3回 160人	— 64
35	長岡地域 地域高齢者等の「食」をサポートする体制整備事業	県			①在宅、福祉、医療のシームレスな「栄養情報の共有」をテーマにした検討会 ②食べる機能に着目した研修会 ③病院、施設の管理栄養士を対象とした「栄養情報の共有」を目指した研修会	101	【新潟食形態一覧の登録サポートと学会分類に関する研修会】 9月11日 参加者16人 【栄養情報でつなぐ栄養ケア・マネジメントと栄養管理に関する研修会】 1月21日 参加者44人	108
36	食育推進会議・食育推進連絡会議	健康増進課	推進会議 2回 連絡会議 3回	201	推進会議 1回 連絡会議 2回	112	推進会議 1回(書面開催) 連絡会議 2回	16
37	長岡市食育推進計画進捗状況管理	健康増進課	実施状況報告書作成	—	実施状況報告書作成	—	実施状況報告書作成	—
38	食生活改善推進委員協議会養成教室	健康増進課	1会場 6回実施 修了者 19人	105	1会場 4回実施 修了者 23人	63	1会場 4回実施 修了者 17人	71
39	食生活改善推進委員活動支援	健康増進課	会員数 443人 全体研修会 2回 延べ302人 各地域研修会 22回	2,289	会員数 425人 全体研修会 2回 330人 各地域研修会 27回	463	会員数 412人 全体研修会 2回 329人 各地域研修会 27回	924
40	子ども食堂への農産物の無償提供	JAえちご中越 さんとう地域			提供先:1食堂 毎月1回提供	—	提供先:1食堂 毎月1回提供	—
41	食育月間・食育の日PRイベント	健康増進課	食育月間・食育の日PR活動	82	POP掲示 スーパー5社、コンビニ4社 PR展示 2か所	67	POP掲示 スーパー5社、コンビニ4社 PR展示 2か所	—
42	食育講演会	健康増進課	参加者数 84人	100	参加者数 221人	100	参加者数 180人	141
43	食農教育ワークショップ わくわくキッズアドベンチャー	JAえちご中越 (組織福祉課)					7/27開催 参加者数 1,030人	2,000
44	食農教室 ファミリークッキング ワンジャふる	JAえちご中越 (組織福祉課)					12/27開催 参加者数 大人11 子ども11	200

第4次長岡市食育推進計画 事業量管理表

事業名等		実施主体	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
			実績	決算額 (千円)	実績	決算額 (千円)	実績	決算額 (千円)
45	ながおか田植え・さつまいも苗植え体験 稲刈り・さつまいも掘り体験	農水産政策課他	田植えまつり 9組 32人 農業ふれあいまつり 6組 17人	—	田植え・さいまいも苗植え体験 15組 47人 稲刈り・さつまいも掘り体験 49組 148人	—	田植え・さいまいも苗植え体験 23組 64人 稲刈り・さつまいも掘り体験 91組 263人	—
46	芋農園、じゃが芋・肴豆栽培・収穫体験	JAえちご中越 ながおか地域	各種収穫体験イベント 各2回開催 参加者数延べ66人 栽培・収穫体験:幼稚園 1園	—	各種収穫体験イベント 各2回開催 参加者数延べ55人 栽培・収穫体験:幼稚園 1園	—	収穫体験イベント 1回開催 参加者数 65人 栽培・収穫体験:幼稚園 1園	—
47	農業・農村体験	JAえちご中越 ながおか地域	小学4,5,6年生 20人	—	小学4,5,6年生 20人	—	小学4,5,6年生 26人	—
		JAえちご中越 さんとう地域	実施小学校 1校	—	実施保育園 1園 実施小学校 2校	—	実施保育園 1園	—
48	学校教育田	JAえちご中越 ながおか地域	実施小学校数 13校 実施幼稚園数 1園	—	実施小学校数 14校 実施幼稚園数 1園	—	実施小学校数 14校 実施幼稚園数 1園	—
		JAえちご中越 さんとう地域	実施小学校数 5校	—	実施小学校数 5校	—	実施小学校数 5校	—
49	野菜栽培指導	JAえちご中越 ながおか地域	実施小学校 8校 実施園 22園	—	実施小学校 3校 実施園 10園	—	実施小学校 3校 実施園 10園	—
		JAえちご中越 さんとう地域	実施小学校 2校	—	実施小学校 2校	—	実施小学校 3校	—
50	こめっこすすめ隊料理教室	JAえちご中越 ながおか地域	米粉料理教室(小学生向け) 1回開催 参加者8人 出張料理教室(高齢者施設) 2回開催 参加者16人	—	米粉料理教室(小学生向け) 3回開催 参加者32人	—	米粉主張料理教室 8回開催 参加者334人	—
51	食育の日料理教室	JAえちご中越	/		毎月19日 11回開催 延参加者数110人	—	毎月19日 12回開催 延参加者数129人	—
52	長岡産食材を使用した給食の実施	保育課 各保育園	月1～2回程度実施	—	月1～2回程度実施	—	月1～2回程度実施	—
		農水産政策課 学務課 各小中学校	全市内学校	—	全市内学校	—	全市内学校	—
53	学校給食への長岡産(地場産)米 提供・地元野菜の提供	JAえちご中越 ながおか地域	米供給数 3,783俵 対象校 61校 野菜提供 24校	—	米供給数 3,526俵 対象校 52校 野菜提供 26校	—	米供給数 3,357俵 対象校 52校 野菜提供 23校	—
		JAえちご中越 さんとう地域	米供給数 168俵 対象校 3校 野菜提供 14校	—	米供給数 182俵 対象校 3校 野菜提供 14校	—	米供給数 169俵 対象校 3校 野菜提供 13校	—

第4次長岡市食育推進計画 事業量管理表

事業名等		実施主体	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
			実 績	決算額 (千円)	実 績	決算額 (千円)	実 績	決算額 (千円)
54	ワンジャーランドフェス2025 (旧:ながおか農業まつり)	JAえちご中越 ながおか地域	集客数 11,000人 他体験イベント実施	—	集客数 10,300人 他体験イベント実施	—	集客数 14,000人 他体験イベント実施	—
55	職場体験	JAえちご中越 ながおか地域	大学生4人、中学生21人	—	中学生23人、小学生13人	—	中学生16人、小学生13人	—
		JAえちご中越 さんとう地域					職場見学 小学生40人	—
56	環境に配慮した農法で作られた米 のブランド化	農水産政策課			認証数 28経営体	—	認証数 12経営体	—
57	小、中学生を対象として環境をテーマに デコ活4コマまんがコンクールの募集	環境政策課			(R6はデコ活標語の募集) 市内小学校 18校252点 市内中学校 1校152点	39	市内小学校 23校213点 市内中学校 5校79点	32
58	小学生を対象とした地球温暖化・気 候変動対策講座で食品ロス削減に つながる環境教育	環境政策課			市内3校 229人	24	市内1校 64人	8
59	食生活改善推進委員地区活動	長岡市食生活改善 推進委員協議会	郷土料理、伝承料理の教室を開催	—	郷土料理、伝承料理の教室を開催	—	郷土料理、伝承料理の教室を開催	—

R7年度食育推進事業実施状況・評価

全事業一覧

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかの食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R7 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
1	母子健康手帳交付時の生活指導	こども家庭センター	○					母子手帳交付時に保健師や助産師と面接をし、食生活等の保健指導を実施。	R7. 4月～R8. 3月妊娠届出数1,241件	643	専門職と個別面接することで、個々の状況に応じた生活指導を実施することができている。
2	赤ちゃん相談、1.6歳、3歳児健診時栄養・食生活相談・情報提供	こども家庭センター	○					乳幼児の健康の保持増進を図り、育児に関する相談支援を行う。	赤ちゃん相談：1,176人 1.6歳児健診：1,305人 3歳児健診：1,553人	384	赤ちゃん相談では、離乳食の相談が多い。また健診時の相談は、肥満や偏食などの食生活に関する相談が多かった。栄養士から助言・指導を受けることで、食生活の見直しにつながっている。
3	子育て支援地区活動	母子保健推進員協議会	○					長岡市母子保健推進員協議会に委託し、地区単位で子育てに関する講座や親子の交流会等を開催。食に関することでは、離乳食講座やおやつ作り等の内容を取り入れている。	令和7年度子育て支援地区活動食に関して8回	792	離乳食や幼児食、おやつについてなど栄養士の講話を聞きながら、個別の相談や指導も受けられる場となっている。
4	児童クラブ等食育プログラム	健康増進課	○					子ども自身が「食」に関心を持ち、「食」を正しく選択できるようにすることを目的に、児童館（児童クラブ）に来ている子どもたちを対象に、「食」にかかわる講話および調理実習を行う。	・実施児童クラブ数：12か所 〈内訳〉 ・講話と実習：2か所 ・講話のみ：10か所 ・参加児童数：370人 ・実施内容 黄赤緑のバランス、マナー、朝食、野菜、みそ玉作り、おにぎりづくりなど	62	各施設の実態に沿った内容で実施し、子ども達にとって身近な例を挙げながら話すことで、より自分のこととして考えられたようだった。実施後は、保護者へ報告している児童も多くみられ、働く保護者世代への啓発にも繋がった。
5	食育リーフレットの作成・配布	健康増進課	○	○			○	食育に関するリーフレットを作成し、広く市民に啓発を図るもの。食に関するイベントや講座、企業等へ配布。	朝ごはんリーフレット、働き世代向けリーフレット、郷土料理リーフレットなどを、食に関する市民向けイベント時や、保育園の食育講座、食推活動等で配布した。また、食育月間に図書館やミライエに設置した。	—	令和7年度はリーフレットの新規作成は無いが、減塩普及啓発動画を作成し、市ホームページに掲載、当課実施講座内や、アオーレ大型ビジョン、市内商業施設等で放映し、幅広い世代の人に目にさせていただけた。

R7年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかの食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R7 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
6	食育総合講座「みんなの食育塾（親子コース）」	健康増進課	○					親子で食に関わる様々な体験を通して、若い世代への食に関する興味や関心を高めるとともに、家庭における食を育む力の向上を図る。	6/21 笹団子づくり 7/26 地場産野菜を使った料理 8/23 パパと子で作る魚介料理 12/6 お正月料理 R8/1/30 はじめての食育体験と健康講話（1～3歳児とその家族） 参加者数 親子50組（大人57、子56人）	250	令和7年度は食育に取り組みたいがきっかけが作れない家庭向けのミニ講座（幼児と保護者対象）を実施。 親子対象講座は、すぐに申込満員となり関心の高さが伺える。参加者は「家ではなかなか出来ないが今回とても良い経験になった」「子どもが包丁をもつ機会をつくろうと思った」など、家庭での継続した学びにつながった。
7	食育総合講座「みんなの食育塾（高校生コース）」	健康増進課	○		○			高校生対象に若年期から自分にあった食事量を知り、バランスよく食べる必要性について「3・1・2弁当箱法」を用いて普及する。	・7/31、10/30 新潟少年学院 参加者数 113人		高校生向け講座は、令和7年度は実施なし少年院の講座では、若い世代の食生活のポイント、弁当コンテストの講評を行った。 自立する前の世代に食育することで、健康な食生活を送る力を身に着ける支援ができた。次年度以降は、多くの高校に実施していただけるよう、周知を行っていく。
8	食育総合講座「みんなの食育塾（生活習慣改善コース等）」	健康増進課			○			生活習慣の改善を目的とし、適正体重の維持や食事バランスなどに配慮した食生活が実践できるよう、講話や実習を通して学ぶ。	・9/10 高血圧予防の食事 ・9/17 糖尿病予防の食事 ・R8/1/27 食事で認知症予防（つきイチ脳活とコラボ） 参加者数 42人		当課の特定保健指導や他講座においてチラシの配布を行ったが、申込数は伸び悩んだ。疾病予防をテーマとした講座は「難しそう」「ハードルが高い」といった印象を持たれやすいことが、参加につながりにくい要因の一つと考えられる。 このため、令和8年度は関連講座との連携や、講座タイトル・周知方法の見直し、測定等と組み合わせた実施などの工夫により、参加者の増加を図りたい。
9	食育総合講座「みんなの食育塾（伝承コース）」	健康増進課					○	長岡の代表的な郷土料理や、地元の食文化の体験を通して親しんでもらい、次世代に伝えていくため、実施するもの。	・10/10 栃尾の郷土料理 ・11/12 和食の基本 参加者数 33人 ・12/1～1/31 動画配信 長岡の郷土料理「のっぺ」 申込者数468人 視聴回数717回		郷土料理講座は募集開始後すぐに定員に達し、市民の郷土料理に対する関心の高さがうかがえた。 また、動画配信講座については、過去最高となる申込者数468名を記録した。視聴後アンケートにおいても満足度が高く、内容に対する評価は良好であった。 申込時期が年末年始であったことに加え、郷土食への関心の高まり、広報の工夫などが相乗的に効果を発揮し、成果につながったと考えられる。

R7年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおか食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R7 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
10	給食だより・食育だより	保育課 各保育園	○	○				公立保育園の献立や食に関する情報、各保育園での取組を発信することを目的とし、献立だより、給食だよりを発行する。	献立だより発行 12回/年（保育課） 食育だより発行 各保育園で年3～4回		献立だよりには使用食材を黄赤緑の3色分けで記載しているほか、減塩うまみランチ、まごわやさしい献立、かみかみ献立、郷土食や行事食など、工夫を凝らした献立を取り入れ、家庭に周知している。他にも季節の話題やマナー、アレルギー、子どもの好き嫌いと味覚などについて掲載。今後も給食を通じて園での食育に取り組んでいきたい。 食育だよりでは、各園での日々の食事の様子や園で野菜を栽培・収穫する様子、育てた野菜を使ったクッキング活動などの食育活動、給食レシピなどの紹介を行った。
		学務課 各小中学校	○	○				①各学校で保護者あてに毎月配布するもの ②「ながおか減塩うまみランチ」に合わせ毎月掲示、または配布によって減塩の取組についてのおたよりを配布 ③学校給食週間（1月）に合わせ、毎年テーマを決め給食への関心を高めるおたよりを家庭へ配付	①全市内学校で毎月1回配布 ②毎月「ながおか減塩うまみランチ」に合わせて配布・掲示 ③年1回：学校給食週間期間（1月）		「ながおか減塩うまみランチ」をおたよりや掲示で、取組を周知する機会となった。 R7年度の学校給食週間のテーマは「祝 合併20周年 長岡の食を再発見」とし、地域の食材や特徴を知り、味わった。
11	食育授業・食生活調査	学務課 各小中学校	○	○				各小中学校で食育指導計画に基づき、児童・生徒を対象に食育授業を実施する。	食育授業：47校で実施 食生活調査：全小中学校で実施（小5、中2）		全小中学校で実施し、市内の小5、中2の食生活の実態を知ることができた。結果をもとに児童生徒に向けて食育授業等を通じて啓発に努めていく。
12	こども長岡びったり3・1・2弁当スライド作品展	健康増進課 学校教育課	○	○				市立小中学校の児童・生徒を対象に、「3・1・2弁当箱法」で作ったお弁当のスライド作品を募集し、ホームページ等で上映するもの	応募総数 167件 小学校 3校4件 中学校 5校163件 【びったり賞】37件 【参加賞】130件		応募作品は市のホームページやこめぶら、農業まつり等で掲載、上映を行った。子どもたちが食について「自ら調べる・知る・調理する・伝える」機会となった。

R7年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかの食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R7 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
13	市政だより給食レシピ紹介	学務課 保育課	○	○	○			子どもたちに人気で栄養バランスのとれた給食レシピを幅広く紹介し、家庭での食育や食事作りのヒントとしてもらうため、市政だよりにより学校・保育園の給食レシピを市政だよりに掲載する	市政だよりにより毎月掲載 (学務課・保育課で隔月で担当)		子どもたちに人気の野菜を使ったメニューや地元食材・旬の食材を使ったメニュー、郷土料理など、給食レシピを市政だよりで紹介することで、幅広い世代に向けて発信ができた。市政だよりのアンケートでは給食レシピを家庭の食事作りの参考にしている、家庭で作ると子どもが喜んで食べてくれるなどの声があったため、引き続き食育と絡めたレシピを掲載していきたい。
14	子育て支援あぐりんこ内での食育調理実習	J A えちご中越 さんとう地域	○				○	子育て中のママと入園前の子どもを対象に、親子で食育について学びながら調理実習を通して料理できる力を身に付ける。	月1回(9月除く)、年11回開催。 延べ親子の参加 102組 内容：行事食、伝統食など地場農産物を使った食育メニュー		笹団子、おこわ団子、しょうゆ赤飯など、郷土食に関心のある子育て中の保護者に意欲的に参加いただき好評を得た。
15	子育て世代の親子を対象にした郷土食の伝承会	J A えちご中越 さんとう地域	○				○	子育て世代の親子を対象に新潟県の郷土食である「笹団子」作りを体験してもらい、郷土食や地域文化を若い世代へ伝承する。	12月6日(土)実施 親子15組 計33人の参加		郷土食の伝承会として年1回実施。笹団子作りに関心のある若い世代も多く、郷土食を地域へ普及・伝承する場となっている。
16	小学校(保育園)での食育出前教室	J A えちご中越 さんとう地域	○	○				保育園・小学校からの依頼で「出前食育教室」や「出前料理教室」として地域に出向く食育活動を展開していく。	小学校：2校 保育園：9園 小学校は依頼内容に応じた調理実習、保育園はペープサート、クイズ、エプロンシアターなどを実施		「食育」を身近に体験してもらえた。 ①小学校：米粉クッキング 学校田米を製粉して使用した調理実習で、米の栽培から消費までの流れを学んでもらう機会となった。 ②保育園：食育教室 お米クイズに園児が活発に参加していた。食と農にふれてもらう機会となった。
17	保育施設を通じた保護者への栄養・食生活支援	県	○	○	○			健康課題の多い働く世代に対する食生活改善の取組	見附市保育施設において、関係者と食の課題や県及び市食育推進計画で目指す方向等について共有すると共に、働く世代である保護者に向けた健康教室等を実施。 ・市保育事業研究会園長部会(4/15 参加者10名) ・市保育事業研究会研修会(11/12 参加者17名) ・モデル保育園親子健康教室(9/25 参加者13名)		県、市の課題や計画で目指していること及びターゲットは保護者であることを公立施設を中心に関係者と共有することができた。 保育施設との役割分担や私立施設への横展開は今後の課題。今後は、本取組をモデルケースとし、長岡市においても各施設や行政の担当者と取組を共有していきたい。

R7年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおか食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R7 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
18	【新規事業】 地域・職域連携推進事業	県	○	○	○			健康課題の多い働く世代に対する食生活改善の取組	運輸交通業のモデル事業所（長岡市）に介入し、食生活の実態把握と改善を目的とした健康教育等を実施。 ・健康教育（10/14～10/16 参加者50名）		モデル事業所からモデル事業所加入協会等への取組拡充及び関係機関との連携について検討することができた。今後は、関係機関とより連携を深め、それぞれの持つ資源を活用しながら取組を進めていきたい。
19	子ども食堂への運営支援	子ども政策課	○					市内における子ども食堂の安定的な運営や開設の拡充を図るため、子ども食堂の運営経費を対象に補助金を交付。 令和6年度より運営費7万円に加え、施設の賃借料又は使用料が発生する場合は2万円を上乗せし、上限額9万円に増額した。	補助金交付：14団体 (内新規開設：2か所)	1,020	補助金の交付により子ども食堂の新規開設や安定的な運営に繋がり、子どもの孤食防止や居場所づくりが図られた。
20	食育指導計画	保育課 各保育園		○				各保育園での健康教育、食育活動等を計画的に行うため、年間指導計画を作成する。	公立認可保育園・こども園 30/30園		全園で作成し、計画に基づいて食育の取組を進めている。今後も年度ごとに各園で年間計画を作成し、食育活動を行っていく。
		学務課 各小中学校		○				各小中学校で学校指導要領に基づき各学校で計画を立てるもの	全体計画：79校作成 年間計画：70校作成		令和2年度に市内学校栄養教職員によって作成された食指導全体計画をもとに、毎年年間計画を作成し、それに沿った食育を進めている。
21	食育講演会	学務課 各小中学校		○				食に関する内容について児童、生徒、職員、保護者あてに講演会を実施するもの	児童生徒対象：4校 保護者対象：2校 保護者と地域住民：1校		講演会等を実施する学校が少なかったが、実施した学校では各学校のテーマに沿った内容で講演会を実施し、食育の普及啓発につながった。
22	給食試食会	保育課 各保育園	○	○				乳幼児期の食事について、適量やバランス、おやつ役割などを保護者へ啓発する目的で、保育参加や懇談会などで、給食やおやつを試食会を実施する。	各公立保育園で実施（23園） 保育参観や懇談会などで給食やおやつを試食会を実施		家庭での様子と違いを感じる場面にもなっており、家よりも野菜を食べていて驚いたなどの感想が寄せられた。実際に保護者が給食を食べることで、幼児期に必要な食事バランスや味付けの目安、食事量などの啓発につながった。
		学務課 各小中学校	○	○				各学校で保護者、地域住民、生産者と試食会を実施するもの	保護者等対象：51校		コロナ禍前の実施状況に回復した。試食会を通じて保護者等へ地産地消、減塩について周知する機会となった。

R7年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおか食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R7 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
23	給食での行事食の実施	保育課 各保育園		○				子供たちの食文化への興味、関心を高めるため献立に行事食を取り入れる。	給食、おやつを合わせて月1～2回程度実施 正月料理（なます、雑煮、鮭塩焼きなど）、節分、七草がゆ、鏡開き、七夕、冬至、春分の日（おはぎ）、ひな祭り、長岡まつりに合わせて長岡の特産物を使用した献立などを提供		次年度以降も、積極的に行事食を取り入れた。 － 献立だよりの他にも、ひとくちメモや献立会議等での保育者等への伝達を通じて、子どもと家庭への啓発に努めていく。
		学務課 各小中学校		○				各行事にあわせた行事食を給食で提供するもの。	全市内学校		季節ごとの行事や、各学校行事に合わせ献立を工夫することで、給食を通じて行事食を学ぶ機会となった。
24	栄養教諭等による健康教育・指導	保育課 各保育園		○				公立園や子育て支援センターで園児や未就学児保護者に対して、健康教育・食育講座を実施する。	保育園：3か所延べ6回（延べ298人） 支援センター、子育ての駅：3か所 保育園：食事のバランスや生活リズム、朝ごはんの大切さ 子育て支援センター：乳幼児期の食事や離乳食など		イラストや媒体を使用し、クイズや語りかける方式で行うことで、子どもたちも集中して話を聞いていた。支援センターでの講座は、保護者同士の情報交換の場にもなっていた。 － 次年度以降も、園からの依頼に応じて実施していく。
		学務課 各小中学校		○				各学校で栄養教諭、栄養教職員が目標に合わせて授業、指導を実施するもの。	全市内学校		昨年度に引き続き、減塩の取組を行うとともに、各学校の児童生徒の健康・生活リズムを把握し、現状に沿った内容を検討し実施できた。

R7年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかの食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R7 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
25	保育園・幼稚園・こども園食育事業【園児・保護者向け講座】	健康増進課 保育課		○				園児や保護者を対象に、食に関する講話や運動、簡単な調理体験等を行う (1)保護者向け食育講座 (2)親子食育体験講座 (3)3回講座	(1)保護者向け食育講座 ・2園実施 36人（保護者31人、職員5人） ・内容：幼児期の食事で大切なこと (2)親子食育体験講座 ・5園実施 193人（児童91人、保護者80人、職員22人） ・内容：朝ごはんの大切さ、食事のマナー、おやつ等の講話と簡単な調理体験（シャカシャカおにぎりづくり、出汁試飲など） (3)3回講座 ・10園実施 延べ1559人 ・内容 ①まごわやさしい ②き・あか・みどりの食べ物 元気なうんち・うんちおたすけ運動 ③早寝早起き朝ごはん 元気いっぱい全身運動	255	事後アンケート結果より、受講後の家庭での変化として「食べ物や食べることについての会話が増えた」「食事のバランスを気をつけるようになった」「野菜を食べる量・頻度が増えた」の回答が多く、講座による具体的な成果を把握することができた。 課題としては、アンケートの回答率が低いことが挙げられる。回答すると追加情報が得られるなど、インセンティブを考慮した方法を検討していきたい。 また、パクパクノートのやり取りが負担、または使い方が不明確だった保護者が少数見られたため、記載内容や説明方法について改善を検討したい。
	保育園・幼稚園・こども園食育事業【保育従事者研修会】	健康増進課		○				保育従事者が、食育の重要性を認識し、日々の保育場面で効果的な導入ができるよう支援することを目的に、研修会を実施するもの。	発達障害等の子どもの食の発達困難と支援 －「食べられない」を傾聴と対話で支援する－ 日本大学文理学部教育学科 准教授 田部 絢子 参加者数 185人	30	オンライン形式のみで実施した。参加しやすいためか、昨年度より受講者数は増加した。講演内容については、発達障害児等の抱える偏食等への対応について、事前の質問に丁寧に回答いただき、受講者の満足度は高かった。今後も対象職員が参加しやすいよう、好評であったオンライン形式を継続するとともに、研修テーマの選定にも配慮していきたい。
26	特定給食施設等指導事業	県		○				健康増進法に基づく給食施設指導	高齢者施設（長岡市に設置される施設を含む）を対象に巡回指導を実施し、栄養管理の実施状況の確認、及び施設間移動時における栄養情報提供書の活用状況等の実態把握を行った。	-	高齢者施設における栄養ケアマネジメントの実施状況や栄養情報共有の実態把握することで、地域高齢者等の「食」をサポートする体制整備事業につなげ、関係者と高齢者の食のサポートについて検討を深めることができた。

R7年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかの食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R7 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
27	食育推進料理教室	長岡市食生活改善推進委員協議会			○			調理実習や講習を通し、食生活面からの健康づくりを推進するため、市から事業委託を受け、市内全域で実施。全市共通するテーマに基づき、地域の実情にあった食生活の相談・助言を行い、健康づくりに関する知識の普及を図る。	実施地区数：49地区 参加者数：622人 テーマ「ナトカリバランスで高血圧予防」 ～ちよいしお、もりもりやさいで健康になろう～	981	参加者からは、「塩分不使用の出汁パックがあり、減塩でも手軽に出汁が取れることを知れてよかった」、「料理教室に参加して、日ごろの味付けが濃かったことに気付いた」、「薄味にすることで出汁の旨味や野菜そのものの味を感じることができた」といった声が寄せられた。
28	ながおか減塩うまみランチ商品化	健康増進課 学務課			○			学校給食の献立を商品化し市内のスーパーマーケットで販売することで、市民が手軽に減塩や野菜摂取に繋がる食生活を実践できるよう、食環境の整備を行うもの。	販売店舗 ①スーパーマルイ（市内7店舗） ＜6月販売個数＞ ・鶏肉の香味焼き：2,216個 ・ひじきとコーンのサラダ：419個 ・かみかみみそ汁：193個 （長岡市内の販売実績） ②割烹たいしん ・庁舎販売 さいわいプラザ 780食 アオーレ 137食 ・弁当 436食 ・社員食堂 554食	3	協働により減塩体験の場を創出し、市民の関心の高さを確認できた。 一方、参画企業の拡大や継続的検証、広報強化が課題である。
29	健康増進活動	J A えちご中越 ながおか地域			○			①健康教室：健康に関する情報提供を行う。 ②地区健康料理教室：ながおか地域女性部で開催。研修会を受けた各支部リーダーが中心となり、健康料理教室を開催し、健康づくりへつなげる。	①健康教室 会場：3会場 参加人数：55人 地域住民の健康意識の向上、検診受診率増加、健康寿命の延長を目的に開催。長岡中央総合病院のリハビリテーション科技師などの協力により、各会場のニーズに合わせた講話や軽運動について指導をいただいた。 ②健康料理教室 開催時期：第1回6～8月/第2回10月～12月 会場：18会場 参加人数：182人 乾物や旬の野菜使った料理教室の実施。支部で伝達講習会を開催。	-	①健康教室 「毎年の参加を楽しみにしている」と例年参加されている方も多かった。日常的に続けられる運動で、病院技師による分かりやすく本格的な指導により継続的に続けられそうと健康への関心が深まった。令和7年度は町内やJ A 女性部の催しと重なり、例年より参加人数が減少。各会場ともに少人数での開催となった。 ②地区健康料理教室 「自宅でも作りやすい」「料理のレパートリーが増えて良い勉強になる」と主婦でもある部員のみなさんからは好評。また、支部活動（伝達講習会）を行うきっかけとなり、参加する部員同士の交流にもなるため活動活性にも繋がっている。

R7年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかの食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R7 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
30	すこやか・ともしびまつり ブース参加	栄養士会長岡支部 (福祉総務課他)			○			地域における食育活動の重要な場と とらえ、今、健康づくりに必要な テーマを設定し、専門職として食の 面から健康支援を行う。	・9月13日、14日 ・来場者：370人（栄養士会ブースへの総来 場者数） ★お仕事チャレンジブースの一つを担当 「困っている人の食事を改善してあげよ う！」をテーマに、来場者に困っている人の 食事を改善してあげることで、元気になるこ とを体験してもらい、自分や家族の食生活へ の振り返りとする。 ※持ち帰り用冊子を用いて説明。		・お仕事体験のため、子ども連れの家族の参 加が多く、家族で一緒に考え答えを導いてお り、家庭での食事を振り返る機会になった。 ・冊子で説明することで、基本の食事「主 食・主菜・副菜」をそろえて食べることの大切 さも伝えることができた。 ・栄養士、管理栄養士に興味を持ってもらえ るよう、お仕事内容についてリーフレットに 掲載、説明した。
31	糖尿病を知るつどい・アオー レで知ろーれでの啓発活動	栄養士会長岡支部 (長岡市医師会他)			○			糖尿病に関心のある方、患者さんと その家族、一般の方等を対象に実施 する。	・7月5日参加者260人 ・11月8日参加者164人 糖尿病対策において血圧コントロールは重 要であり、その対策として食塩の摂り過ぎが 懸念されることから、気を付けたい減塩ポイ ント及び酒などアルコール飲料の制限方法を 紹介した。		テーマ「血糖値を抑えて10年後の医療費を節 約しよう！」「アオーレで知ろーれ！糖尿 病」として座談会のメンバーとして参加し、 また、展示物を活用して具体的に栄養相談を 実施することで、糖尿病の症状の変化にあわ せた食事内容と対策を伝えることができた。
32	自然に健康な食事ができる環 境づくり事業	県			○			スーパーマーケット等と協働した食 環境づくり	9月～11月の「からだがよろこぶデリキャン ペーン」では、子育て世帯を中心とした働く 世代に向けたPRを強化した。 ・長岡市こども園併設子育て支援センター (23施設)、長岡市子育ての駅(13か所)で キャンペーンPRチラシ設置 ・事業所における健康教育での周知：従業員 65名 - 長岡市 けんこうtime推進店：31店舗 (R8. 2 末現在)		メインターゲットである子育て世帯を含む働 く世代に向けたPRにつながった。 からだがよろこぶデリの活用方法の紹介等も 含め、引き続きPRを実施する。
33	コミュニティセンターにおけ る高齢者・男性に対する食育 の取組	各コミュニティセン ター 市民協働課			○			高齢者や男性を対象とした料理教室 の開催等、食への関心を高め健全な 食生活の実践につながる機会の提供 を行う	実施コミュニティセンター：22か所 参加者数延べ：716人 ・男性対象とした食育の取組： 10か所 22回 参加者数延べ256人 - 高齢者対象とした食育の取組： 15か所 22回 参加者数延べ460人 ・内容：講話、調理実習など ・講師：栄養士など		高齢者向け及び男性向けいづれも、継続的な 実施や周知により参加者数が増加した。 望ましい食習慣の定着につながるきっかけづ くりとして、今後も内容の充実を図ってい く。

R7年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかの食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R7 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
34	ふれあい型食事サービス事業	長岡市社会福祉協議会				○		ひとり暮らし高齢者などを対象に、食事の提供を行うとともに、利用者の安否確認や利用者同士、利用者とボランティアとのふれあいを目的とした食事サービスを実施するもの	・市内41地区で実施（全地区） 延食数60,109食	-	各地区のボランティア等がお弁当の献立から調理、配達までを行い、ひとり暮らし高齢者などの安否確認や地域住民同士のふれあい、つながりづくりを行うことができた。
		長岡市社会福祉協議会 長岡市食事サービス連絡協議会				○		ふれあい型食事サービス事業の調理ボランティアを対象に事業が円滑にできるよう、研修会を実施するもの。	・実施回数3回 ・参加者160人	64	・物価高でもできる献立、大量調理での時短のポイントや高齢期に必要なたんぱく質がしっかり摂れる献立を学んだ。 ・各地区の食事サービス事業の実施状況・課題等の情報共有や、参加者同士の交流をすることができた。
35	長岡地域 地域高齢者等の「食」をサポートする体制整備事業	県				○		高齢者を支援する関係者と協働し展開する食を通じた地域包括ケアシステムへの貢献を目指した事業	・新潟食形態一覧の登録サポートと学会分類に関する研修会（9/11開催 参加者16人） ・栄養情報でつなぐ栄養ケア・マネジメントと食事管理に関する研修会（1/21開催 参加者44人）	108	診療報酬や介護報酬の改定に合わせた「栄養情報の共有」の必要性について関係者と共有することができた。
36	食育推進会議・食育推進連絡会議の開催	健康増進課				○		幅広い分野に関わる食育は、多様な関係者、関係団体が連携し計画に取り込むことが重要である。そのため、食に関する団体や有識者等で構成し長岡市食育推進計画の策定や進捗管理を行う食育推進会議と関係団体、関係部局が連携を図るため、情報・意見交換を行う食育推進連絡会議を設置している。	【長岡市食育推進会議】 令和8年1月29日書面開催 議題：令和6年度事業報告・令和6，7年度食育推進連絡会議報告 【長岡市食育推進連絡会議】 ①令和7年7月30日開催 ②令和7年12月10日開催 議題：今後の事業展開について・関係団体協力リストの作成	16	働き盛り世代へのアプローチを重視し、食育推進連絡会議において各団体事業と第4次食育計画の指標との関連を整理した。あわせて、団体間で連携可能な取組を洗い出し、協力リストとして共有した。今後は当該リストを活用し、連携による取組の推進を図る。
37	第4次長岡市食育推進計画進捗状況管理	健康増進課				○		第3次長岡市食育推進計画の施策に対する取組状況を把握し、現在の進捗状況の評価を関係課・関係団体と共有することで、計画の推進に向けた現状と今後取り組むべき課題を明確にする。	令和6年度実施状況報告書の作成	-	関係課、関係団体の食育推進についての取組状況を調査し、報告書としてとりまとめた。これを基に関係課・関係団体と食育推進事業の現状や課題を共有し計画の推進を図っていく。

R7年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかのお食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R7 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
38	食生活改善推進委員養成教室の開催	健康増進課			○		○	住民の健康づくりを推進するため、食生活改善推進委員を養成するもの。受講生に対して、食生活や運動実技、生活習慣病、市の保健活動についてなど、健康づくりに関する幅広い分野の講座を行う。	開催時期：9月～12月の 計4回 受講者数：19人 修了者数：17人	71	参加者からは、食の大切さや健康づくりの重要性を再認識し、「自分も役に立ちたい」との前向きな声が多く寄せられた。また、食生活改善推進員が市の事業と連携して活動するボランティアであることを知り、学びが多く有意義だったとの感想もあった。今後は、養成教室で得た知識を生かし、自身や家族、地域の健康づくりに貢献していただくことを期待する。
39	食生活改善推進委員活動支援	健康増進課			○			地域での地区活動の円滑な実施と活動強化のため、また、地域住民の健康づくり及び食育を推進するために研修会の充実を図る。	・会員数412人（R7.4.1） ・全体研修会：2回 329人 ・各地域研修会：27回	924	市民の健康づくりを進めるためには、地域で活動する食生活改善推進員の役割が重要である。今後も、活動に生かせる研修内容を検討し、楽しく継続できるよう支援していく。令和8年度発行の「おかず手帖2」を活用して、地域での活動を通して長岡の味を広めていく。
40	子ども食堂への農産物の無償提供	J A えちご中越さんとう地域			○			子ども食堂へ、地場農産物・地場産米の無償提供を行う。	提供先 1 食堂 毎月 1 回、直売所生産者より無償提供いただいたものを納品。	—	子ども食堂への農産物の無償提供を通じ、社会貢献の一環として取り組んでいる。今後も継続した支援を行う。
41	食育月間・食育の日PRイベント	健康増進課			○			食に関する団体と連携し「食育月間」（毎年6月）及び「食育の日」（毎月19日）を周知するための普及活動を行うもの。	・野菜摂取啓発POP、減塩啓発ポスター掲示（市内コンビニ4社、スーパー5社）（6月） ・食育月間PR展示 中央図書館・ミライエ長岡での展示（6月）	—	本取組は多くの企業から賛同を得るとともに、POPやポスターの工夫により効果的な周知が図られた。一方、店舗や業態による設置状況の差が課題であり、今後は店舗責任者への理解促進が必要である。
42	食育講演会	健康増進課			○		○	食を通して生涯にわたり健康な心身を培い、健全な食生活の普及を図り、食の大切さの理解につなげるため、広く市民にむけた講演会を実施するもの	食生活改善推進委員協議会第2回全体研修会に併せて開催 日時：11月20日（木） 会場：リリックホールシアター 参加者：180人 講師：土屋 智帆氏（お米ライター） 「お米をもっと食べよう！」	141	参加者からは、米をテーマとした講演が「日本人の体に合った食事」への理解や、炊き方・吸水方法など日常に活かせる内容として高く評価された。身近なテーマ設定により関心が高まり、男性参加率も昨年度より大きく増加した。

R7年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかの食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R7 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
43	【新規事業】 食農教育ワークショップ わくわくキッズアドベン チャー	J A えちご中越 (組織福祉課)			○			子ども向けの食農教育ワークショッ プを開催。対象は特定せず。 本イベントを通し、子どもたちの食 への感度向上および家族がふれあう 場づくりを提供する。	令和7年7月27日開催 参加人数：延べ1030人 内容：エダマメもぎ体験やカップ寿司づくり 等、計6つのワークショップを実施	2000	当 J A 管内へ幅広く折込チラシにてPRしたた め、幅広い地域の方から参加頂いた。 3世代の家族づれも多く見られるなど、家族 の良質なコミュニケーションの時間を提供で きた。 複数のワークショップにより、子供たちの食 への好奇心が沸き立つことに成功。より深い 食への気づきへ誘導することができた。
44	【新規事業】 食農教室 ファミリークッキ ング ワンジャふる	J A えちご中越 (組織福祉課)			○		○	地域住民への健康増進推進、家族の 交流、食への興味への誘いを目的と した家族料理教室を開催。	令和7年12月27日開催 参加人数：大人11 子ども11 計7グループ 内容：郷土食、ケーキ作り	200	早期に定員に達したことから、地元住民の食 への関心の高さがうかがえた。 今回は食推の方々より講師およびサポートい ただき、大変スムーズに進めることができ た。 アンケートでの満足度の高さから、郷土料理 への関心と食への興味を向上させる成功例に なったと思われる。
45	ながおか田植え・さつまいも 苗植え体験 稲刈り・さつまいも掘り体験	農水産政策課 (ながおかグリー ン・ツーリズム推進 協議会)					○	○ながおか田植え・さつまいも苗植 え体験 農業体験を通して、市民・農業者と のふれあい交流の場を創出するとと もに、農業に対する理解を深める。 ○稲刈り・さつまいも掘り体験 5月の田植えで定植した作物及び地 場産の作物を収穫し、収穫の喜びと 農産物の成長を実感するとともに、 一日を通して農業と触れ合う機会を 提供する。	○ながおか田植え・さつまいも苗植え体験 開催日：5月25日（日） 参加者：23組64名（大人35名 子供29名） ○稲刈り・さつまいも掘り体験 開催日：9月21日（日） 参加者：91組263名（大人138名 子供125名）	-	食べ物の生産体験を通して、農産物にかかる 多くの愛情や労力などを実感し、食の大切さ や感謝の気持ちを学ぶことができた。

R7年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかの食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R7 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
46	芋農園、じゃが芋・肴豆栽培・収穫体験	J A えちご中越 ながおか地域 (直売交流課・なじら〜て関原店)					○	直売所：長岡産野菜のPR拡大と園芸農産物の生産拡大。	(1) 直売所隣接圃場を活用した収穫体験イベント 日時：10月13日 内容：さつまいも収穫体験 参加人数：65人 (2) 幼稚園を対象とした農業体験 対象：みのり幼稚園 内容：さつまいも栽培 参加人数： 6月定植作業30人程度(年長) 10月収穫作業60人程度(年長・年中・父兄)	-	(1) 苗の仕入れ先を変更し、イベント参加者に満足いただけるさつまいもに仕上げる事ができた。天候に恵まれず、当初の10/12から1日延期となった。日程変更の連絡が非常に手間がかかるため、令和8年度は工夫して取り組みたいと思う。 (2) 幼稚園の先生方、父兄の方々の強いご協力もあり、スムーズに運営することができている。食育の観点から重要なイベントと思っているため、可能な限り継続していきたい。
47	農業・農村体験	J A えちご中越 ながおか青年部					○	旧 J A 越後ながおか管内(旧長岡市・栃尾・山古志)の小学生4.5.6年生を対象に1泊2日で実施。農産物加工体験や地元農家での農業体験を通じて、農業の知識や楽しさ、地元を学ぶ場として実施。	日程：8月16日(土)～17日(日) 会場：あぐらって長岡・寺室温泉(宿泊先)青年部圃場 参加者：26人 内容：米粉ピザ作り、スマート農業体験農業体験 【協力団体】 J A えちご中越ながおか女性部 ながおか「リソース」推進協議会	-	J A 女性部やあぐらって長岡の協力を得ながら、長岡の農と食について楽しく学べた。例年真夏日開催のため、熱中症には特に気をつけ、安全に実施できた。
		J A えちご中越 さんとう地域					○	農産物直売所でのお買い物体験を通じて地場農産物への理解を深めてもらう	11月20日実施 保育園児10名が農産物の買い物を体験	-	地元で栽培された新鮮な野菜に興味を持ってもらえる機会となった。
48	学校教育田	J A えちご中越 ながおか青年部					○	青年部が先生となって、小学生・園児を対象に行う。 田植えや稲刈りなどの体験を通して農業への関心を深めてもらう。	実施小学校：14校 実施保育園・幼稚園：1園	-	楽しみながら農業体験してもらい、収穫の喜び・農業への関心を深めてもらった。
		J A えちご中越 さんとう地域					○	小学校からの依頼で、5年生の学校田の指導を行いながら農業への理解を深めてもらう。	実施小学校 5校	-	田植えから稲刈りまでの学習や体験を通して、米づくりや地域農業への理解を深めてもらった。
49	野菜栽培指導	J A えちご中越 ながおか青年部					○	青年部が先生となって、小学生・園児を対象に行う。 植付や収穫などの体験を通して農業への関心を深めてもらう。	実施小学校 3校 実施保育園・幼稚園 10園	-	楽しみながら農業体験してもらい、収穫の喜び・農業への関心を深めてもらった。
		J A えちご中越 さんとう地域					○	小学校からの依頼で、野菜の栽培指導を行いながら農業への理解を深めてもらう。	実施小学校 3校	-	野菜の栽培、管理、収穫を通して楽しみながら農業に触れ、体験することで食と農への関心を深めてもらった。

R7年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかの食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R7 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
50	こめっこすすめ隊料理教室	J A えちご中越 ながおか地域 組織福祉課（こめっ こすすめ隊（J A 女 性部））					○	米生産地として、米粉の普及・活 用・P Rを行い、米の消費拡大をす すめる。また米粉料理の出張講習会 を行う。 月1回の定例会を設け、メンバーで自 主的に勉強会を実施。	【米粉出張料理教室】 全8回 参加者数 延334人 内容：ミニパンケーキ、うどん、リンゴの ケーキ、シフォンケーキ、ピザ風チヂミ、ク レープ、ピザ、ちんぴん、野菜とキムチのチ ヂミ		米粉の性質を学び、実際に調理して1人で きた達成感を楽しんでもらいながら米粉につ いてを学んでもらった。現在はお菓子やパン など市販の物でも米粉の普及が多く広まって いるが、実際に調理する機会は少ないため今 後も子供向けの教室を中心に活動を続けた い。
51	食育の日料理教室	J A えちご中越					○ ○	なじら〜て東店に併設された市民交 流施設イーネにて、旬の食材や季節 のイベントに合わせた料理教室を一 般市民を対象に開催。	毎月19日（または、その前後に日にち） 会場：市民交流施設イーネ 開催日： R7. 2/20. 3/18. 4/18. 5/20. 6/19. 7/23. 8/19. 9/ 18. 10/21. 11/19. 12/19. 1/19 参加者数 延129人		一般市民のために日々の食卓から食育を発信 できる良い機会となっている。 直売所のPRや売上にもつながっている。
52	長岡産食材を使用した給食の 実施	保育課 各保育園					○ ○	子どもたちの地元食材や郷土料理へ の興味、関心を高めるため給食献立 に行事食を取り入れる。	給食、おやつを合わせて月1〜2回程度実施		煮菜、ゆうごう、糸うり、醤油おこわ、桜飯 おにぎり、のっぺ、打ち豆、里芋など地元の 郷土料理や食材を多く取り入れ、食文化の継 承に努めた。 献立だよりや保護者配布レシピ、給食ひとく ちメモ、市政だよりでも紹介し、家庭への普 及啓発にも努めた。次年度以降も、積極的に 地元の食材や郷土料理を取り入れていく。
		農水産政策課 学務課 各小中学校					○ ○	市内学校で長岡市産の食材を給食で 活用するもの	全市内学校		全市内学校の給食で各地域の地場産食材を使 用した。 学校給食向け契約流通の取組もあり長岡市産 の食材の使用の意識を高めることにもつな がった。
53	学校給食への長岡産（地場 産）米提供・地元野菜の提供	J A えちご中越 ながおか地域 （園芸特産課・営農 経済課）					○ ○	学校給食への地元野菜・地場産米の 供給	・地元野菜 供給校：23校 ・地元コシヒカリ 供給校：小学校35校 中学校16校 総合支援学校1校 令和6年度産米供給：3,357俵	-	—
		J A えちご中越 さんとう地域					○ ○		・地元野菜 小学校8校/中学校5校 ・地元産コシヒカリ 小学校2校/総合支援学校1校 令和7年度供給：約169.5俵	-	—

R7年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおか食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R7 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
54	ワンジャーランドフェス2025 ～JAえちご中越農業まつり VOL2～	J A えちご中越					○	消費者交流を通じて収穫の喜びを祝い、「地産地消PR」「食農教育」「地域の繋がり・一体感」を目指す。	日時：10月25日(土)9:00～15:00 会場：ハイブ長岡 来場者数：14,000人 出店数：42ブース		名称をワンジャーランドフェスと変更し楽しいイメージでメインターゲットを「子育て世代・若年層」としたため、管内の食農関係団体から協力いただき、来場者数は過去最多となった。
55	職場体験	J A えちご中越 ながおか地域 (総務部・直売交流課)					○	農業関連施設等での職場体験を通じて、農業やJ A の理解を深めてもらう。	①中学生(2年生) 職場体験 日時：5～6月 場所：なじら～て東店 内容：野菜の袋詰め、品出し、接客 参加人数：6人(3校) ②中学生(1年生) 地域巡検 日時：10月 場所：なじら～て東店 内容：店舗への質問回答、売場見学 参加人数：5人(1校) ③中学生 日時：7・9・10月 場所：なじら～て関原店 内容：野菜の袋詰め、品出し、接客 参加人数：5人(2校) ④小学校 日時：10月 場所：なじら～て関原店 内容：販売・接客 参加人数：13人(1校)		①直売所の業務を中学生に良く知ってもらうことができた。参加された学生さんは、礼儀正しく積極的に業務に取り組んでくれた。 ②直売所の強みである、毎朝地元農家さんが持ってくる新鮮な野菜を販売しているということを、伝えることができた。 ③④お客様とふれあう機会を大切に職場体験を実施。直売所について知り、興味を持っていただく良い機会になった。
		J A えちご中越 さんとう地域		○				農業関連施設等の見学通じて、農業やJ A の理解を深めてもらう。	小学生40名が育苗施設を見学。苗についての質疑応答と育苗に関する一連の作業を見学。		田植えまでの準備と作業を知ってもらうことで、農作業への理解を深めていただく機会となった。
56	環境に配慮した農法で作られた米のブランド化	農水産政策課					○	農薬、化学肥料の使用量5割以上削減に加え、環境保全に寄与する農法を用いて栽培された米を市でブランド認証し、消費・生産拡大を図るもの	令和7年度 認証数 12経営体 市内の直売所やwebショップにて販売		本ブランド認証は、安全安心な長岡米の認知度向上、価値向上に繋がっただけでなく、地域の子ども向けに水田の生き物調査等を行っている生産者の励みにもなり、食を学ぶ体験の場の継続にも寄与した。

R7年度食育推進事業実施状況・評価

〈基本施策〉 1. 家庭での推進 2. 学校、保育園等での推進 3. 地域での推進 4. 環境に配慮した食の循環の推進 5. 「ながおかの食」の継承

	事業名	実施主体	基本施策					事業概要	実施状況	R7 決算額 (千円)	事業評価
			1	2	3	4	5				
57	【新規事業】 小、中学生を対象として環境をテーマにデコ活4コマまんがコンクールの募集	環境政策課		○			○	市内小・中学生の環境配慮への意識を醸成する「デコ活4コマまんがコンクール」を実施	市内小学校 23校213点 市内中学校 5校79点	32	入賞作品は市HPやトキと自然の学習館で展示したほか、「市政だより」「ながおか環境情報誌」に掲載し、機運醸成を図れた。
58	小学生を対象とした地球温暖化・気候変動対策講座で食品ロス削減につながる環境教育	環境政策課		○			○	地球温暖化への基本的な知識と関心を醸成し、家庭での地球温暖化対策を促進するため、市内小学校を会場に講座を行う	市内1校 64名	8	講座実施日を授業参観日にあて、親子で参加し、家庭内での地球温暖化対策の機運醸成を図れた。
59	食生活改善推進委員地区活動	長岡市食生活改善推進委員協議会 (各コミュニティセンター等)					○	各地域の実情に合わせた取組や地区組織と協働して健康づくりや食育の普及活動を行う。	料理教室等を実施。各地域の実情に合わせた講座の実施や健康づくり普及の取組を行った。	-	各地域のコミュニティセンターや食に関する団体等と協力しながら、引き続き取組を進めていく。